

画像センター

1. スタッフ構成

- 井上 武(画像センター長、PET センター長、地域医療連携室副室長)
- 石丸 良広(放射線科主任部長、画像センター副センター長)

2. 認定資格取得

資格名	資格取得者
日本医学放射線学会放射線診断専門医	井上武、石丸良広
日本核医学会核医学専門医	井上武、石丸良広
日本核医学会PET核医学認定医	井上武、石丸良広
日本インターベンショナル・ラジオロジー学会IVR専門医	石丸良広

3. 運営方針

- (1) 放射線科、放射線部と PET センターを統括し、効率的な運用を図ります。
- (2) 関係する診療科、技術部門、看護部門、事務部門と連携を深め、効率的かつ安全な運用を行います。
- (3) 医療被ばくに関する「正当化」と「防護の最適化」を常に目指します。
- (4) 新しい治療法・手技にも積極的に対応し、医療水準の向上に努めます。

4. 実績

■ 診療実績

	2021	2022
CR	61,498	61,155
MMG	2,569	2,652
CT	34,506	36,666
MRI	10,907	11,267
NM	921	892
PET	2,636	2,725
Angio	2,007	2,157
透視	3,653	3,872

※詳細は放射線部と PET センターの実績を参照

(1) 医療放射線被ばくの管理

医療放射線安全研修では、病院全体の医師・研修医・放射線部技師・看護師・臨床工学部技師を対象に e-learning ツール (Safety Plus)を用いて配信、70%以上の受講率を得ました。

被ばく管理安全専門部会活動として、注腸検査、小児頭部 CT の線量が DRLs を上回っていましたが、自動露出機構(AEC)を低線量モードに変更したり、小児頭頂部の CT 線量を削減した結果、改善が見られました。手術室での胸部大動脈ステントグラフト内挿

術(TEVAR)については透視パルスレートを下げる等、今後の対応策を検討する事としました。

(2) 医療安全への取り組み

画像センターの全職員(放射線科医、診療放射線技師、看護師、看護補助者、秘書)合同での医療安全勉強会をモダリティ別に年3回開催し、医療安全に対する職員個々の意識付けを図っています。

5. 2023 年度目標

(1) より効率的で安全な運用

関係する診療科、技術部門、看護部門、事務部門との意見交換を深めて、より効率的かつ安全な運用を目指します。

(2) 医療水準の向上

放射線科、放射線部、PET センターともに最新の知見を日々習得 update し、患者さんにより有用な画像情報や有効な治療法の提供に貢献します。

6. 学術関係

(1) 学会発表および講演

1. 井上武, RI 内用療法の歴史と今後の展望. NET Web Seminar 2022. 松山・Web 開催 (2022.12.20)